

# 養老町新上水道ビジョン(上水道事業の将来計画)〔概要版〕

## 策定の趣旨

将来的な人口減少、老朽施設の増加に伴う更新需要の増大や大規模自然災害対策、ポストコロナ社会への転換など、事業環境への変化を前提とした新たな課題に対応できるよう、水需要の将来見通しを踏まえ、老朽度や重要度を考慮した施設整備計画の反映、アセットマネジメント手法の活用による中長期的な財政収支検討を行い、事業の将来像を掲げ、基本方針や実現方策を示した「養老町新上水道ビジョン」を策定するものです。

## 位置付け

養老町の全体計画である「まちづくりビジョン」を上位計画とし、その上水道部門計画として位置付けるとともに、国の「新水道ビジョン」の基本理念「安全」「強靱」「持続」を踏まえ「養老町新上水道ビジョン」を策定します。

厚生労働省の「新水道ビジョン」の策定方針に基づき、50年後、100年後の将来像を展望し、10年間(令和14年度まで)の本町上水道事業の中長期的な事業運営の指針を定めた根幹となる計画として位置付けます。

## まちづくりの基本理念

### 人と地域を結ぶまちづくり

## 課題と基本方針

### 安全

#### 〈課題〉

- 良好な水源水質の維持
- 水質検査精度の維持と、信頼性の確保

#### 〈基本方針〉

- 水源地の保全

### 強靱

#### 〈課題〉

- 浄水場・配水池などの基幹施設として位置付けた水道施設の優先的な耐震化
- 地震時などの災害時における生活用水等の応急給水の確保
- 老朽化が進む水道施設の更新
- 将来の水需要減少を見据えた適正な施設規模への変更
- 漏水対策も含めて老朽管更新時の耐震管、長寿命管による布設替

#### 〈基本方針〉

- 水道施設・管路の耐震化
- 水道施設・管路の更新

### 持続

#### 〈課題〉

- 経営戦略による中長期的な投資・財政計画の策定、見直し
- 効率的な施設運用による使用電力の削減
- 有収率向上のための方策検討
- お客様の利便性の向上

#### 〈基本方針〉

- 経営基盤の強化
- 資源・エネルギーの有効利用
- お客様サービスの向上

## 実現方策

### 安全

～いつでもどこでも快適な水の提供～

#### 井戸・配水池等の点検整備の強化

井戸調査を計画的に行い、井戸の老朽化などの原因により水源地の保全に支障となる可能性が高い施設においては、洗浄や改修を行います。配水池内部の点検や清掃を計画的に行い、経年劣化が見られる施設の内面補修などを実施し、安全な水の供給を図ります。

#### 水質検査の精度管理の向上

水質検査の常時監視を行い、水質検査の正確性、信頼性の確保、分析技術の向上に努め、精度の高い検査体制の維持を図ります。

#### 水質管理の強化

水源から給水栓までの水の流れにおいて発生が予想されるリスクを各ポンプ場で想定し、リスクの発生頻度と影響程度を把握し、監視方法や管理基準を設定し、管理基準を逸脱した場合の対応方法を整理し迅速な対応を図ります。

### 強靱

～強くてしなやかな水道システムの構築～

#### 基幹施設(水源地、配水池、重要配管)の耐震化

重要な基幹施設として位置付けた施設のうち、耐震対策が必要なポンプ場や配水池について、耐震化を優先的にを行い、災害に強い施設を目指します。また、災害時に避難所となる学校などの重要給水施設への管路を優先して耐震化を図ります。

#### 効率的な水道施設の更新・耐震化

経年化し耐震性に乏しい第2ポンプ場を対象として、第2ポンプ場と第4ポンプ場を統合し、第2ポンプ場の廃止、第4ポンプ場を拡張し、第2ポンプ場を自然流下方式の配水へ変更することで、機械電気機器等の更新費の削減、電気代の削減を図り、効率的な運用を図ります。

#### 老朽化した水道施設・管路の更新

今後、更新時期を迎える老朽化施設の増加が見込まれますので、優先順位を設定し計画的な更新を図ります。また、管路は耐用年数の長い管種の採用により長寿命化を図ります。

### 持続

～健全かつ安定的な水道経営～

#### アセットマネジメント手法による資産管理

計画的な更新と必要な財源の確保について、アセットマネジメント手法を用いた適正な資産管理を図ります。

#### 老朽管の更新、漏水調査の強化による有収率の向上

漏水調査を計画的に行い、漏水が多発している箇所を重点的に布設替えし、有収率の向上を図ります。

#### 使用電力の削減、省エネルギー機器の採用

水需要に応じた適正な能力の機器を選定すると共に、経済性を考慮した省エネルギー機器を採用し、電力使用量の抑制を図ります。

#### 廃棄物の排出抑制、建設副産物のリサイクル推進

管路更新時は更生工法を採用するなど、廃棄物の排出抑制に努めます。また、建設発生土等の建設副産物のリサイクルの促進を図り、資源の有効利用を図ります。

#### 水道サービスの充実

ホームページ上で水道事業などの積極的な情報発信、窓口サービスの向上、水道料金収納時の利便性の向上を図ります。